

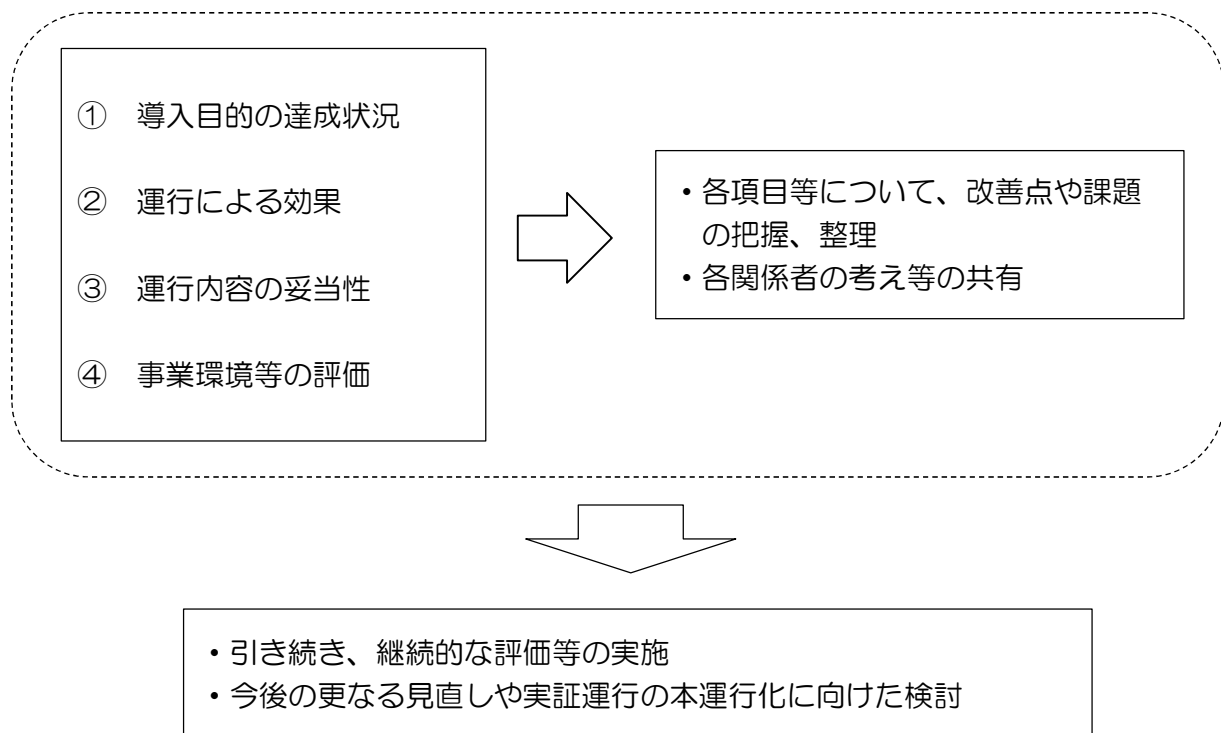
和光市内循環バス運行見直し後の評価・検証について

令和5年10月に予定している、和光市内循環バスの運行見直しに際しては、運行開始後の評価・検証を行う。当該評価・検証により、新路線等における新たな課題等について整理するとともに、今後の更なる見直し等に向けた参考データとする。

1. 評価の視点

利用実績等の整理分析や利用者アンケート調査等によって、本実証運行の評価・検証を行う。検証は、以下の4つの分類で検証を行い、今後の改善に向けた課題等を整理する。

□検証の視点



□評価項目案

評価・検証項目		把握内容	調査名
①導入目的の達成状況	交通弱者の外出促進	○高齢者・障がい者・子育て世帯の外出頻度、外出先 ○外出頻度の変化、外出先の変化	・利用者アンケート
	主要交通拠点や生活利便施設等へのアクセス向上	○主要交通拠点や生活利便施設等へのアクセス	・利用実績等の整理分析 ・利用者アンケート
	バス交通空白不便地域の一部解消	○利用者の居住地	・利用実績等の整理分析 ・利用者アンケート
②運行による効果	利用者の満足度	○運行内容に対する評価	・利用者アンケート
	外出頻度・範囲の変化	○外出頻度の変化 ○外出先や生活圏の変化	・利用者アンケート
	買物等商業活性化貢献	○商業施設等利用者数の変化 ○買物先の変化	・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
	健康増進貢献	○高齢利用者の外出頻度、外出先 ○外出頻度の変化、外出先の変化	・利用者アンケート
③運行内容の妥当性	運行ルート・経由施設・バス停位置	○利用の多い曜日・時間帯	・利用実績等の整理分析 ・利用者アンケート
	運行時間・間隔	○時間帯別の利用状況 ○待ち時間（定時性）に対する意見	・利用実績等の整理分析 ・利用者アンケート
	運行曜日	○曜日別の利用状況 ○運行曜日の要望	・利用実績等の整理分析 ・利用者アンケート
	車両（サイズ・台数）	○最大車内人数、取り残し状況 ○車両の使いやすさ、乗り心地	・利用実績等の整理分析 ・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
	運賃設定（採算性、事業継続性）	○運賃に対する意向 ○運行費用、運賃収入 ○収支率の変化	・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
④事業環境等の評価	公共交通ネットワークへの影響	○ルート・停留所の設定	・利用実績等の整理分析 ・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
	運行管理・車内環境等の供給側の側面	○車内環境 ○運行体制	・利用者アンケート ・関係者ヒアリング
	交通安全・交通渋滞等の道路交通への影響	○交通事故の有無 ○渋滞による遅延の発生	・関係者ヒアリング
今後の見なおし等に向けた課題		○収益性の確保、運行管理の改善、走行環境の改善、安全性の確保、道路渋滞の回避・解消など課題の洗い出しを行うとともに、見直し等の可能性を検討する。	・関係者ヒアリング ・現地確認

2. 調査方法

(1) 利用実績等の整理分析

今回の評価・検証において、利用実績等については以下の項目を整理する。

■整理項目

整理項目	分析する利用実績データ
①運行実績	○運行日数（計画／実績） ○運行便数（計画／実績）
②利用実績	○総利用者数（日平均／月平均／便平均） ○利用者数の推移 ○券種別の利用者数 ○曜日別の利用者数

(2) 利用者アンケート

今回の評価・検証において実施する、利用者アンケートの要領は以下の通りである。

◆実施概要

- 対象路線：市内循環バスの全便・全区間
- 対象者：利用者全員
- 調査方法：実施期間中、車内に調査票を留め置きして配布し、郵送回収する。
うち1日間、調査員が車内に乗り込み、利用者に直接配布を行う。
- 調査時期：11月下旬～12月中旬頃
※詳細な日程については、運行事業者との調整を要する。

□調査項目（案）

- 令和3年度実施の利用者アンケートを参考に、比較可能な調査項目を検討する。
- 把握項目と設問項目は下記の通り。

表 把握項目と設問項目

把握項目	設問項目
利用状況の把握	○利用形態（行き・帰り） ○乗降停留所 ○利用時間帯 ○利用目的 ○他の公共交通との乗り継ぎの有無 ○利用頻度
導入効果の把握	○実証運行前後の外出手段の変化 ○実証運行前後の外出頻度の変化
問題点・課題の把握	○運行内容（ルート・停留所位置・本数・運行日・時間帯など） ○所要時間 ○運賃設定、支払方法 ○運行車両（使いやすさ・乗り心地） ○乗り継ぎ ○具体的な改善要望
基本属性の把握	○性別、年代、職業、居住地 ○免許保有状況

□調査票

調査票については、調査項目数も考慮し、下記の形式から適切な方式を検討する。

- 葉書形式：宛先記入済みの葉書の裏面に調査項目を記載し、回答を求める。
利用者の回答・返送が容易である半面、調査項目が限られる。
- 封書形式：A4用紙複数枚に調査事項を記載し、回答を求める。
調査項目は多く記載可能であるが、回答や返送に手間が生じる。

(3) 関係者ヒアリング

運行事業者等、関係者へのヒアリングを実施し、データ分析では把握できない実態について補完する。

□調査概要

表 関係者ヒアリングの調査概要（案）

項目	内容
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・運行事業者 →東武バスウエスト株式会社、株式会社和光輸送
調査手法	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に作成するヒアリングシートの内容に沿って、和光市またはKCSが調査対象に聞き取りを行う（対面方式）。 ※対面方式でのヒアリングが難しい場合は、適宜、方法を調整する。 ・可能な限り、ヒアリングシートは事前に送付する。
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・再編後の運行状況 ・再編後の問題点・効果等 ・事業者としての再編に対する評価・反応 等

□調査項目の整理

表 調査項目

調査項目	分析の視点
<p>◆再編後の運行状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行体制（乗務員数、使用車両等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編後の運行について、実態を把握する。
<p>◆再編後の問題点・効果等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再編による効果 <ul style="list-style-type: none"> ・利用状況（利用者数、客層など） ○再編後の問題・改善点について <ul style="list-style-type: none"> ・再編前に生じていた問題・改善点 ・再編により解消された問題・改善点 ・再編により解消されなかった問題・改善点 ○再編に関する利用者の評判・評価について 	<ul style="list-style-type: none"> ・再編により生じた変化について、実態を把握する。 ・再編により、従来の問題や改善点が解消されたか、また再編により生じた問題や改善点の有無について把握する。 ・再編について、利用者からの意見や評判、反応などを把握する。
<p>◆事業者としての再編に対する評価・反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再編後の状況を踏まえた、再編ルート等に関する事業者の意見（走行環境、定時性など） ○今後の運行に関する考えについて <ul style="list-style-type: none"> ・再編後の状況を踏まえての考え ・再編前からの方針の変化について 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の再編はどのように評価しているか、事業者目線での意向を把握する。 ・今後の運行に関する方針を把握する。

3. スケジュール

評価・検証に係るスケジュール想定は以下のとおり。

内容	10月			11月			12月			1月			2月			3月			
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	
利用実績等の整理分析	→																		
利用者アンケート																			
関係者ヒアリング																			
評価検証のとりまとめ																			